

## その他の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能の他に、特定のソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。これらのオプションは、コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、システム管理者と相談するときに役立ちます。



**(注)** この表に記載されているユーザガイドとその他のマニュアルについては、次の Web サイトから入手できます。  
[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products\\_user\\_guide\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html)

| 目的または状態  | 必要な操作   | 参照先または問い合わせ先   |
|--|---|--|
| 回線が処理できるコール数を増やす必要がある                          | 回線がサポートするコール数を増やすように、システム管理者に設定を依頼します。  | システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。                            |
| 電話回線が 1 本では足りない                                | 追加の電話番号の設定をシステム管理者に依頼します。   | システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。                            |
| 電話機が呼出中や使用中である場合に表示する、各種ソフトキー (iDivert など) が必要 | システム管理者に対して、新しいソフトキーテンプレートを設定し、電話機に割り当てることを依頼します。   | システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。                            |
| Java Midlets を使用する                             | システム管理者に、電話機に対して Java ソフトウェアモジュールを設定するように依頼します。   | システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。                            |
| スピードダイヤル番号が足りない                                | 現在使用可能なスピードダイヤル番号をすべて使用しているかどうかを確認します。<br>追加のスピードダイヤル番号が必要な場合は、短縮ダイヤル機能の使用またはファストダイヤルサービスへの登録を検討してください。 | 「 <a href="#">ユーザオプション Web ページへのアクセス</a> 」(P.112) を参照してください。 |
| 複数の電話機に 1 つの電話番号を使用する                          | 共有回線が必要です。たとえば、共有回線を使用することで、デスクの電話機とワイヤレス IP 電話に 1 つの番号を使用できます。   | 「 <a href="#">共有回線の使用</a> 」(P.67) を参照してください。                 |

| 目的または状態  | 必要な操作   | 参照先または問い合わせ先  |
|--|---|---|
| 電話機やオフィススペースを同僚と共有している                                 | <p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• コールパーク：転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。</li> <li>• コールピックアップ：別の電話機で鳴っているコールに応答できます。</li> <li>• 共有回線：同僚のコールを表示、またはそのコールに参加できます。</li> <li>• Cisco エクステンションモビリティ：自分の電話番号とユーザプロフィールを共有された電話に適用できます。</li> </ul> | <p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「不審なコールのトレース」(P.73)</li> <li>• 「共有回線の使用」(P.67)</li> <li>• 「Cisco エクステンションモビリティの使用法」(P.75)</li> </ul> |
| 頻繁にコールに応答する、または他の人の代理でコールを処理する                         | 電話機の自動応答機能を設定するように、システム管理者に依頼します。   | 「自動応答の使用」(P.82)を参照してください。   |
| 電話機のスピードダイヤル、履歴、またはディレクタリのリストと関連付けられた電話回線の状態を判断する      | 電話機の Busy Lamp Field (BLF; ビジーランプフィールド)を設定するように、管理者に依頼します。  | 「BLFの使用による回線の状態の確認」(P.70)を参照してください。   |
| 自分の電話番号と設定を共有の Cisco Unified IP Phone に一時的に適用する        | Cisco エクステンションモビリティサービスについてシステム管理者に問い合わせます。   | 「Cisco エクステンションモビリティの使用法」(P.75)を参照してください。   |
| 回線を共有するすべての電話機に対して、コール情報の表示、または共有回線上のコールへの参加を許可または禁止する | これらの電話機に対してプライバシー機能を設定するように、システム管理者に依頼します。  | 「他者による共有回線のコールの表示および割り込みの防止」(P.69)を参照してください。  |